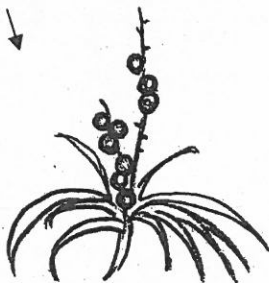


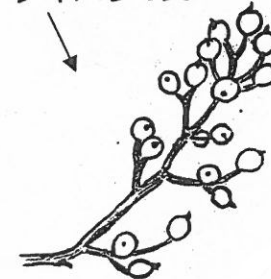
＊アキアカネ



ヤブラン



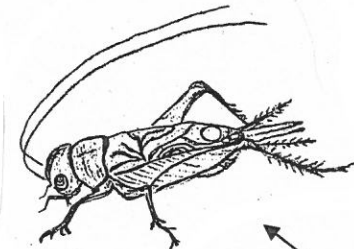
ノイバラの実



コブナグサ

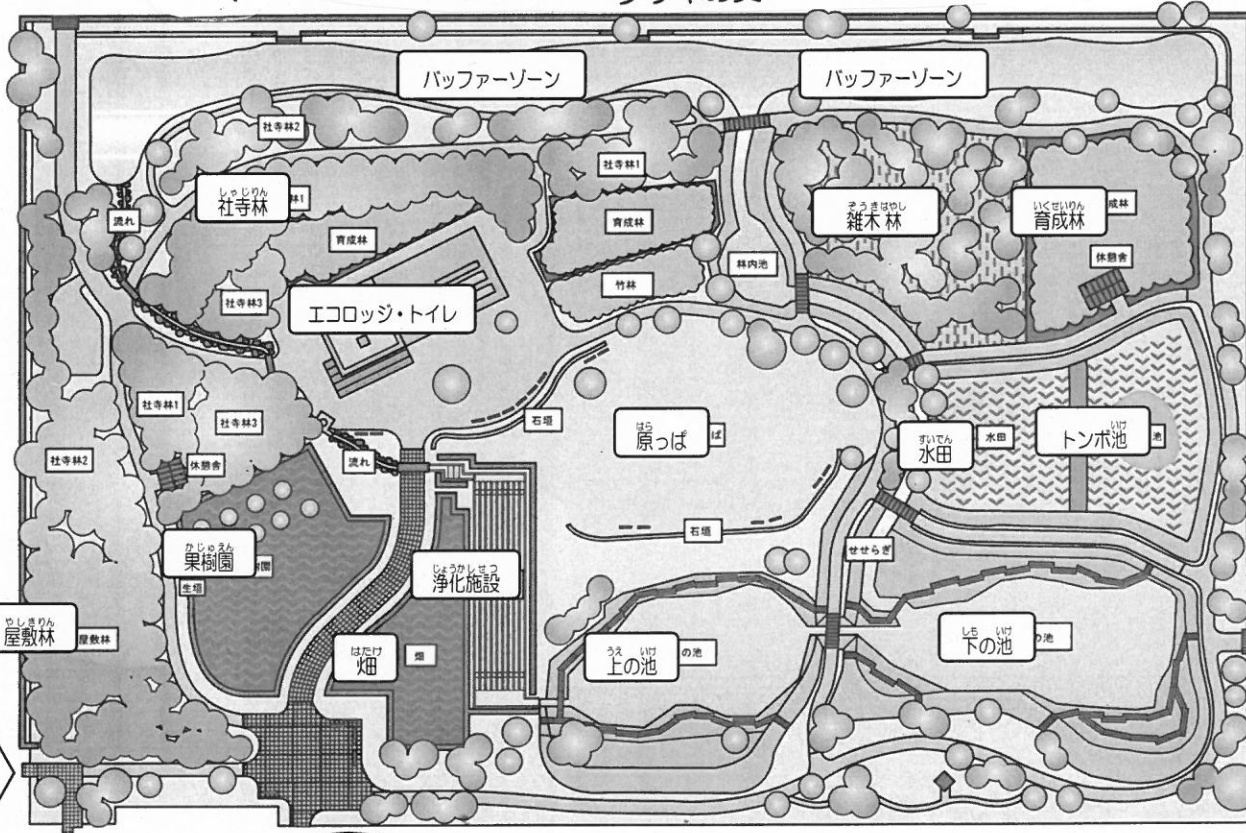


クサギの実



エンマコウロギ

イロハモミジ



＊ コナラ



＊ クヌギ



＊ シラカシ



＊ スダジイ



てんぼうしつ
展望室

しるし うら せつめい
＊ 印は、裏に説明があります。

よ さんこう くだ
読んで参考にしてみてください。



ドングリのなる木

埼玉県マスコット コバトン

シラカシ



シラカシは常緑樹です。そのため、冬の季節風を防ぐためや防火のために、昔から屋敷のまわりに植えられてきました。シラカシの実は、タンニンを多く含んでいて渋いです。殻斗は、縞模様です。

※殻斗…ドングリを包んでいるお椀のようなもの

スダシイ



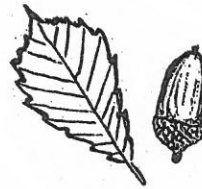
スダジイも常緑樹です。葉は細かったり、丸み帯びた卵型だったり、先の方にギザギザ(鋸歯)があったり、いろいろな変化が見られますが、どれも葉の先端が尖っているのが特徴です。殻斗は毛皮の袋を3つに裂いたような感じ

クヌギ



クヌギは最高級の木炭の材料にされる木です。カブトムシやクワガタが大好きな樹液を出す木でもあります。木の実は、丸くて大きなドングリです。殻斗は、モジャモジャした毛のようで、反り返っています。木の根元や落ち葉の下では、幼虫たちが育っています。

コナラ



コナラは、クヌギと同じように落葉樹です。幹は薪にしたり、シイタケのホダ木に使われます。落ち葉は水田に鋤き込んで、肥料に利用されます。その実は、シラカシのドングリとよく似ていますが、殻斗はうろこ模様です。

アキアカネ



体の赤いトンボのひとつにアキアカネがいます。アキアカネの体は、羽化したときは赤くなく、麦わらのような色をしています。30度を超えるところでは、生きられないため、夏の間、山へ避暑に行きます。そして、秋になり体が赤くなってから、平地に帰ってきます。「アカトンボ」は、特定のトンボではなく、体が赤くなるトンボ全てを指す俗称です。地域により、どのトンボをアカトンボと言うのかは異なります。関東地方では、アキアカネのことをアカトンボと言うことが多いとされています。



生態園にはここに紹介した植物や、昆虫以外にも多く生息しています。

ぜひ皆さんの目で、耳で探してみてください。

